

4か月振りで第24号を発行します。皆様から強力なご支援をいただき5月1日に市議会議員になりました。この期間中ボランティア活動も休まずに実施していましたが夢新聞発行の余裕がなく今日までできてしまいました。私のこれからの制約時間がどのようになるのかが分からないのですが、できる限りボランティア活動と議員活動を両立していこうと考えています。いままで以上の応援をよろしくお願いいたします。

今回は、今までの活動を新聞掲載していただいたものを中心に紹介いたします。

JR烏山線桜並木鉄道大作戦

東日本大震災に伴う土砂崩れのため地元那須烏山市神長で2人が犠牲となりました。2人への慰霊のため石巻被災地に植えてきた桜の苗を子供たちと植える計画を立てていました。

そんな時に被災したすぐ横を通るJR烏山線に全国初の蓄電池電車アキュムが走るという明るいニュースが飛び込んできました。悲しい思い出を未来に繋げる明るい活動に変えるチャンスだと考え終着駅の烏山駅までの沿線に桜を植える活動「JR烏山線桜並木鉄道大作戦」を計画しました。

桜が咲くのが何年か先なので何としても子供たちを巻き込む活動にしたいと考えたのが「ぬり絵コンテスト」です。

被災地を含めた桜並木沿線をアキュムが走り、市のユルキャラたちが笑顔で歓迎しているイメージの「ぬり絵」を作りました。1～3年生を対象に募集したところ学童保育の子供たちも含めて延べ600名が応募してくれ、力作揃いでした。

那須烏山のボランティアチーム

【那須烏山】東日本大震災に伴う土砂崩れにより神長の別邸で亡くなった宇都宮市築瀬4丁目、古谷正彦さん(当時79)、節子さん(同78)夫妻への鎮魂の思いを込め、市災害ボランティアチーム龍JIN(小堀道和代表)は3月2日、災害現場周辺などに桜の苗木を植樹する。当日は市内の小中学生も参加するほか、遺族にも出席を呼び掛けている。大震災3年を控え、風化が懸念される中、被災者への哀悼の意を表したい考えた。(近藤文則)

被災者悼み 鎮魂の桜

同チームでは、3月画している。15日からJR烏山線で特に、大震災で亡く全国初の蓄電池電車になった古谷さん夫妻の運行され、市内外から別邸があった土砂災害大勢の人が訪れること現場は、同線の列車かも考慮し、同線の沿道らよく見えることがを桜並木にしようと計ら、2人の哀悼のため、

現場周辺などに植樹 3月 高校生(豊陸)招き集いも



桜の苗木を植える予定の土砂崩れ現場周辺

現場周辺にきれいな桜を植えようと考えた。イヨシノを植える。植樹場所は古谷さんの被災現場周辺をはじめ、献花台や焼香台などをめ同線の滝駅周辺、鳥設け、烏山小や荒川小山、大金の各駅構内などの児童、学童保育のメンバー、烏山高校生、市関係者などが参加して植樹する。一般の参加者も受け付ける。また同チームは3月22日、「震災3年を考える集い」を田野倉の南那須公民館で開く。宮城県南三陸町から、震災体験の語り部活動をする地元高校生グループ「まももって、かたっからきいてけさいん」のメンバーを招き、市内の小中生や市民と震災や復興について意見交換する。小堀代表は「東日本大震災の被災者を応援し、震災を風化させないため、少しでも大勢の人たちに参加してほしい」と話している。問い合わせは小堀代表 ☎090・1611・5491(携帯)。

那須烏山

復興願い桜植樹

ボランティアら50人参加

心つなごう

東日本大震災

【那須烏山】東日本大震災から3年を控え、土砂崩れで2人が亡くなった神長の被災現場などで2日、市災害ボランティアチーム龍JIN（小堀道和代表）や市内の児童生徒が被災地復興を願い、桜の苗木66本を植えた。

植樹は、JR烏山線で全国初の蓄電池電車が15日から運行されるのを機に、被災現場など同沿線に、列車内から桜が見える場所を作ろうと同チームが企画。この日、天候などの理由で遺族は出席できなかったが、同チームメンバーやガールスカウト栃木県連盟、市内小中学校の児童生徒、烏山高生ら約50人が参加した。

参加者は植樹の前に黙とうをささげ、大谷範雄市長が「龍JINの東北被災地へのボランティア活動には市も感謝している。震災を

通じ人の和、きずな、思いやりの心を学ぶ、今後も安心安全なまちづくりを進めたい」と決意を語った。その後、参加者は被災現場で八重桜を植樹。烏山高



君（16）は「東北にボランティアで何回か行っているの、被災地の復興を願う植樹に参加した」と話した。同チームは22日午後1時から南那須公民館で南三陸町の高校生語り部を招き、震災から3年を

考える集いも行う。（近藤文則のり）

烏山線塗り絵で金賞

JR烏山線で全国初導入となる蓄電池電車アキムムの15日運行開始に合わせ、烏山駅前通りでは春の山あきなどの新しい品種に挑戦したい」と抱負を語った。烏山線塗り絵で金賞



JR烏山線では春の山あきなどの色を色鉛筆で濃淡をつけ、春らしいカラフルな絵に仕上げ、市内小学生約600名の頂点に立った。「とってもよかったです。一生懸命書いたので、仕上げるのに丸1日かかった」と笑顔をみせた。

3月2日記念の植樹会実施

「ぬり絵コンテスト」入賞者11名と保護者、烏山線沿線の植樹場所提供者及び市長に参加いただき被災地の那須烏山市神長で記念の植樹会を実施しました。司会を烏山高校ボランティアサークルにお願いし、若者が活躍する場を積極的に作りました。

ぬり絵の表彰を市長にお願いしました。表彰式終了後、記念の植樹会は市長を含めて参加者全員で行いました。今回は沿線に36本、その他近隣地域に30本合計66本植樹することができました。数年後の桜が楽しみです。



市長によるぬり絵コンテストの表彰式

ぬり絵コンテスト入賞作品展

「ぬり絵コンテスト」の入賞作品を含めた優秀作品約90点を市内南那須地区図書館に4月23日まで展示しました。力作揃いの作品をしまいこんでしまうのがとても残念なため5月末に市役所にも展示することにしました。

多くの市民の皆様に見て欲しいと願っています。



図書館で展示会実施



ぬり絵コンテスト原画

被災地を含めた桜並木沿線をアキュムが走り、まちのユルキャラたちが笑顔で歓迎しているイメージの「ぬり絵」原画。龍 JIN 坂本さん作。



〔蓄電池電車アキュム〕

大容量のリチウムイオン電池を搭載し、電化された区間は架線から充電しながら、電化されていない区間は蓄電池を使って走る電車です

震災から3周年「震災を未来につなげる集い」実施の準備活動

震災発生から3年、被災を受けた地域はどう変化してきたのか。また、これから私たちはどう支援すべきなのか、さらには震災の経験を未来に活かすにはどうすればよいかを地元栃木のボランティア心を持った多くの皆様と一緒に会って考える集いを計画しました。そのためにも未来を担う若者に焦点をあてた企画を考えました。

まずは震災後3年の変化を語って欲しいと願い石巻市鮎川小仮設住宅区長黄金寿司店長の古内勝治さんと門脇地区焼きそば味平店長尾形勝壽さんに参加をお願いしました。また未来に活かすために相応しい講演者選びに苦労しました。インターネット等で調べた結果、幸運にも宮城県南三陸町の高校生震災語り部「まずもって かだっから きいてけさいん」代表の田畑祐梨さん(当時志津川高校3年)と知り合い栃木にも喜んで来てもらえることになりました。

2月2日田畑祐梨さんに会いに南三陸町に行きました

栃木での震災3年の集いの打ち合わせを兼ねて南三陸町の田畑祐梨さんに会いに行きました。陸前高田奇跡の一本松に立ち寄りしましたが、町全体を作り変える勢いで復興工事が進んでいました。最も工事が進んでいる町だと思います。南三陸町仮設さんさん商店街で田畑さんと合い、彼女が取り組んでいる活動について伺いました。

田畑祐梨さんの紹介

震災2年の時、何も変わらない町を見て大人は何もしてくれないと無性に腹がたったそうですが同時に何もしていない自分に気付き、「この震災の苦しみを乗り越え自分たち若者が努力して前以上の南三陸町にしていきたいので応援して欲しい」との思いを多くの人に伝えることなら自分達にもできると考え語り部団体を作ります。外国人も多く訪れるため英語バージョンにも対応できるよう努力しました。活動がマスコミにも取り上げられ活動がどんどん増えてきます。学業を心配した学校からは活動をやめるように言われたそうですが、仲間と励まし合って学業成績を上げながら活動を続けてきました。



田畑さん(中央)を囲んで

2014年(平成26年)3月23日(日曜日)

災を未来につなげる集い 共に前へ進もう～

代表 田畑 祐梨



自らの被災体験を話す田畑さん(22日午後、那須烏山市岩子)

多くの人に伝えたいことの一つに大切な人を一瞬にして失い、「ありがとう」と「大好きだったよ」の言葉を言えなかった悔しさがずっと心残りになっているので、毎日いつでも「ありがとう」と「大好きだったよ」を言って欲しいと語気を強めます。

彼女の取り組みがNHKなど多くのマスコミにも紹介され講演依頼が県外を含めどんどん増えていきます。

海外にも行く機会に恵まれます。

彼女は英会話を子どもの時から学んでいたにも拘らず思うように話せなかったことにショックを受け、南三陸町に子どもたちが自分の夢を海外の人たちに話せるような英会話教室を設立することが彼女の夢の一つに加わります。

彼女の前向きで一途な情熱あふれる話を聞いていると幕末の坂本龍馬女版のような錯覚まで覚えています。

栃木の若者に早く彼女の話を知りたい思いで帰路に着きました。

震災から3周年の集い

3月22日(土)、震災1年目及び昨年2年目に引き続き震災3年目の集いを実施しました。

集いの詳細については右の下野新聞3月23日の紹介記事を読んでください。

記事には紹介されていないのですが鮎川小仮設住宅古内勝治区長の奥さんが今回参加され「仮設住宅で震災3年が経ち、一人で亡くなる人が増えていることが気になります。是非、多くの方が私たちのところに足を運んでくれると嬉しいです」と現状を訴えたことが印象的でした。

実は、今回参加いただいた田畑さんも石巻市門脇の焼きそば味平店主尾形さんも今最も私たちにお願ひしたいことは何かを聞いたところ「会いに来て欲しい」でした。このことを次頁の通り読売新聞「時評」に紹介しました。

会えることが力に

田畑さんら被災経験語る

那須烏山



東日本大震災の風化を防ごうと、シンポジウム「震災から3年 震災の経験を未来につなげる集い」(那須烏山市災害ボランティアチーム龍JIN主催)が22日、同市岩子の南那須公民館で開かれた。市内外から約150人が参加。被害に遭った宮城県南三陸町の高校生や石巻市の被災者の訴

えを聞き、今後の被災地支援の在り方を考えた。まず同町の高校生主体の語り部グループ「まずもって かたっからきいてけさ いん」代表の3年、田畑祐梨さん(18)が基調講演した。グループ名は、地元の方言で「ひとまずお話をするので聞いてください」という意味で、昨年3月11日の結成後、4千人以上に被災経験を語ってきた。

家を失い仮設住宅で過ごしてきた田畑さんは、津波で亡くなった恩師に「『ありがとう』と言えなかったことを毎日後悔している」と明かし、「私と同じ思いをしてほしくないで、周りの人に『ありがとう』『大好き』と伝えてほしい」と呼び掛けた。

た私たちの復旧工事が後回しになっている」と被災地の現状を憂慮した。津波で妻が行方不明となり、自宅跡周辺で「石巻焼きそば」を販売する尾形勝寿さん(69)は「心のケアになるような活動を継続してほしい」と要望。田畑さんは「私たちに会いに来てほしい。被災者は会いに来てくれるその日まで頑張ることができる」と力説した。最後は参加者全員が手を取り合い、唱歌「ふるさと」を熱唱。支援を通して結ばれた絆を確かめた。(沼尾歩)

お悔やみ申し上げます

古内勝治区長の奥さん古内蓉子さん(68)が4月28日逝去されました。皆様と知り合えたことが宝物ですと勝治さんの言葉です。ご冥福をお祈り致します。



古内蓉子さん(左端)3周年の集いで

最後に

震災3年が経過し栃木県唯一の
岩子仮設住宅支援活動の特集記事
や選挙については紙面の関係で紹
介しきれませんでした。
次号までお待ちください。



市議員選挙に当選しました



時評 記憶風化今こそ被災地へ

栃木 TOCHIGI

東日本大震災から既に3
年余り。被災地では街全体
を作り変える勢いで復興工
事が進行している地区や、
高台移転工事が進んで明る
さが見え始めた地区も増え
てきた。

しかし、復興が進まず不
安の中で生活している人も
まだまだ多い。これらの方
々が心を痛めていることは
風化の2文字である。復興
が順調に進んでいると思わ

ボランティア団体「龍」|N|代表

小堀 道和



れ、被害の記憶も薄れて支
援の手も遠のき、自分たち
が放置されてしまうのでは
ないかと不安を抱いてい
る。

1月末、
ずっと応援
してきた宮
城県石巻市
門脇地区の焼きそば店主に
「昨年の12月以来、人が全
く来なくなった。無性に寂
しいので、今からでも会い

に来てほしい」と言われた。
いつも笑顔で元気にボラン
ティアの私たちを迎えてく
れた人なので困惑してしま
った。

3月末に私の地元那須
烏山市で実施した震災3年
の集いに同県南三陸町の高
校生の語り部グループの代
表を講演者として招いた。
彼女は震災2年目の3月11
日に「自分たちにできるこ
とを考えて実行しよう」と

仲間に呼びかけ、語り部団
体「まずもって、かたっか
らきいてけさいん」を設立
し、ふるさとへの思いや未
来への夢を全国に発信する
活動を始めた人物だ。

彼女に「今、全国の皆様
に支援してほしいことを一
つだけ挙げるとしたら何
か」と問うと、「会いに来
てほしい」と話した。震災
後はたくさんの方が支援に
駆けつけてくれたが、今は
ほとんど来る人がなく、取
り残された寂しさばかりが
日ごとにつのる。会いに来
てくれれば「自分たちが元

気に頑張っている姿を見て
もらえる」と思い、勇気や、
やる気が湧いてくるとい
う。

復興にはまだまだ時間が
必要であり、被災地の人々
が精神的に追い込まれるこ
とを防ぐ活動がますます望
まれる。被災地に直接行っ
て耳を傾け、心を通わせる
ボランティア活動はとても
有意義で誰にでもできる活
動である。
震災から3年が経過して
風化が進んでいる今こそ、
多くの人々が被災地を訪れ
ることを願ってやまない。